

2023年

9月1日

(金)

13:30開演  
(13:00開場)

歌志内市コミュニティセンター  
「うたみん」(歌志内市字本町76)

入場無料(整理券なし)

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※ご用意する座席の数には限りがございます。

シュールヒト

■指揮 松本 宗利音 ■管弦楽 札幌交響楽団

メンデルスゾーン／序曲「美しいメルジーネの物語」

レスピーギ／リュートのための  
古風な舞曲とアリア第3組曲

メンデルスゾーン／交響曲第4番「イタリア」

# 札幌交響楽団 歌志内公演



医療×芸術×社会福祉のために、人々と支えあいながら「美」の文化を伝えたい。  
「公益財団法人 萬田記念財団」は、  
北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。



[主催] 歌志内市地域交流事業実行委員会  
公益財団法人 札幌交響楽団  
[後援] 歌志内市教育委員会  
[協賛] 公益財団法人 萬田記念財団

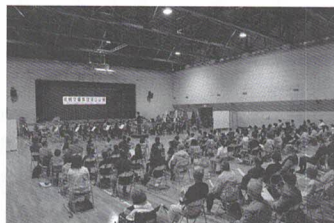
■お問い合わせ  
歌志内市教育委員会社会教育グループ  
TEL 0125-42-4223  
札幌交響楽団  
TEL 011-520-1771  
(平日9:30~18:00、月曜不定休)

※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



SAPPORO  
SYMPHONY  
ORCHESTRA

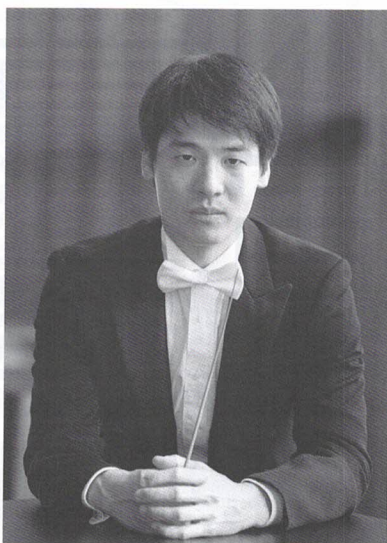
公益財団法人 萬田記念財団は、医学を中心とする研究・教育活動の支援・貢献、芸術分野への支援・貢献、社会福祉への支援を行うことにより、生命の安全を守る医療、社会福祉および情操の涵養を促す芸術の振興・向上を目的とする公益財団法人です。事業のひとつとして平成25年度から北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。



令和4年度 浦臼公演 (指揮: 松本宗利音)



令和4年度 占冠公演 (指揮: 米田覺士)



### 指揮/松本 宗利音

Shurihito MATSUMOTO, conductor

## Profile

1993年11月大阪府豊中市出身。相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属し、音楽、特にヴァイオリンに親しみながら幼少期を過ごした松本宗利音は、京都堀川音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。

指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事し、藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。

2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者として道内はもちろん各地で共演を重ねた。2020年10月には指揮研究員を務めて指揮者としての才能を開花させる礎となった東京シティ・フィルの定期演奏会に、2021年1月札幌hitaruシリーズ定期演奏会、同2月に読売日本響、同9月には大阪フィル定期演奏会にもデビューし堂々たる演奏を披露。これまでに仙台フィル、山形響、群馬響、東京響、新日本フィル、名古屋フィル、京都市響、関西フィル、大阪響、日本センチュリー響などに客演、活躍の場を大きく広げている。これからの音楽界を担う期待の若手指揮者の一人であり、その瑞々しい感性から引き出される音楽から目と耳が離せない注目の存在である。本年12月には、年末恒例の「札幌の第9」の指揮者に抜擢。

### 管弦楽/札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれ、2021年に60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどが務め、現在、首席指揮者 マティアス・バーメルト、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、正指揮者 川瀬賢太郎を擁する。

例年、年間約120回のオーケストラ・コンサートのほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を道内各地で行っている。60年を超える歴史の中、節目ごとに海外公演も行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。歌志内市での演奏会は1997年以来26年ぶりとなる。



公式ホームページ

<https://www.sso.or.jp>



© Yasuo Fujii